

格差ペアの永久的根絶をめざし、全組合員が立ち上がる！

JR東労組東京地本闘争委員会

2018 2.16

東京地本闘争委員会FAXニュース

No. 11

**所定昇給額の算出基礎による格差ペア反対！
闘争準備指令に基づき「あらゆる戦術」を行使して、
全職場から揺るがぬ決意でたたかい抜くことを確認！**

2月14日、緊急全支部・運車分会代表者会議開催

2月9日に開催したJR東労組本部第44回定期中央委員会では、18春闘に向けた取り組みとして、①格差ペア根絶、②全組合員一律6,000円（定昇を含まず）、③グリーンスタッフ組合員の基本賃金4,000円引き上げ、④エルダー組合員の基本賃金4,000円引き上げ、⑤企画部門で働く組合員の課員手当等をはじめとする要求を決定しました。あわせて、2014年から4年連続で対立していた「格差ペア」に決着をつけるため、17春闘で確立したスト権について「ストライキを含むあらゆる戦術行使に向けて、その準備体制に入る」ことを確認しました。

東京地本は、第44回定期中央委員会決定に基づき発出された闘争準備指令第1号、そして2月14日に発出された闘争準備指令第2号「東京地方本部に対する『格差ペア永久根絶』の実現に向けた戦術行使の準備指令」を万全な態勢でたたかい抜くために、緊急全支部・運車分会代表者会議を開催しました。そして、これまで各支部・分会で積み上げてきた苦闘と教訓を確認し、所定昇給額の算出基礎による格差ペアに反対！格差ペアの永久的根絶をめざし、闘争準備指令に基づき「指名スト」「非協力闘争」のたたかいに決起していくことを確認しました。

職場からのたたかいの高揚と決意について発言が出される！

- 私たちは無理難題を求めている。会社は「格差ペア根絶」の要求を受け入れるべきだ。
- ペアにまで格差をつけることは、人間の生活を否定している。
- ストライキをしなければいけない状態をつくったのは会社だ。
- 賃金本質論の学習や議論を積み上げてきて「指名スト」に決意する組合員がいる。
- ペアにまで格差がつくのは、どこの企業にもない。JR東日本だけだ。
- 会社の不誠実な交渉がこのような状態にまで追い込んでいる。家族も差別はおかしいと理解を示している。
- 産経新聞の事実を捻じ曲げた報道もあるが、ヤフーニュースの支援・賛同の声が支えになっている。
- 私たちは一生定額ペアを求めているわけではない。“ペアにまで格差をつける必要はない”それだけだ！

**格差ペアの永久的根絶をめざし「あらゆる戦術」の行使で、
全組合員でたたかい抜く体制の構築を訴えます！**